

# 一等米比率を高めよう!

## 土づくり基準

★米づくりの基本は土づくりから。  
ほ場に合わせた土づくりで地力増進をはかりましょう。  
稲作の基本は土づくりです。秋のうちから土づくりをしつ

かりと行うことで、田植以降の肥培管理がしやすくなります。

### 【秋すきの励行】

稲わらはできるだけ早くすき込み、必ず排水溝を設置しましょう。

### 【有機物と土づくり資材】

◎稲作に必要な堆肥は10a当たり約2t施用

またはアヅミンを10a当たり40kg施用

◎刈り取り後の生ワラを有機質として補う場合

石灰窒素を10a当たり20kg施用し、すき込んで下さい。  
(分解・腐熟が早まり、肥料効果が高い) (夢たんばには石灰窒素の使用はできません)

※土づくり資材は下の表を参考に、資材を施用してください。稲はケイ酸作物。

大事な点はケイ酸成分の補給です。中干し前にけい酸加里を施用するため秋には必要ないと考えがちですが、ケイ酸成分を多く含むほ場からはおいしいお米が取れることがデータにより立証されています。

土づくり基準 (10a当たり)

丹波ひかみ米	夢たんば
土力の達人 80kg	
堆肥 2t 又は アヅミン 40kg	
石灰窒素 20kg	※石灰窒素は使用できません

### ◎収穫後のほ場管理

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
作業内容	土づくり資材の投入・秋すき・排水			排水管理・春すき			土づくり	田植
土づくり	堆肥	堆肥 (2t)			※堆肥の散布が難しい場合、アヅミンで代用ができます			
	稲わら腐熟	石灰窒素 (20kg)			※夢たんばには使用できません			
	土づくり資材 ケイ酸補給	土力の達人 (80kg)						

肥料・農薬を施用された場合は、必ず栽培履歴に記帳しましょう。

土づくり資材											
肥料名	施肥量 (10a当たり)	特長	成分 (%)								
石灰窒素	20kg (1袋)	稲わら分解を早めるため年内に散布してすき込みましょう。 (夢たんばには使用できません)	<table border="1"> <tr><td>窒素</td><td>20</td></tr> <tr><td>アルカリ分</td><td>55</td></tr> <tr><td>シアナミド石灰</td><td>55</td></tr> </table>	窒素	20	アルカリ分	55	シアナミド石灰	55		
窒素	20										
アルカリ分	55										
シアナミド石灰	55										
アヅミン	40kg (2袋)	根の活力を高めて、リン酸、苦土、ケイ酸の吸収を促し、稔りをよくします。堆肥施用田に併用すると、より効果があります。	<table border="1"> <tr><td>腐植酸</td><td>約50</td></tr> <tr><td>く溶性苦土</td><td>10</td></tr> <tr><td>うち水溶性苦土</td><td>3</td></tr> </table>	腐植酸	約50	く溶性苦土	10	うち水溶性苦土	3		
腐植酸	約50										
く溶性苦土	10										
うち水溶性苦土	3										
土力の達人	80kg (4袋)	春施用でも使用できます。10a当り4袋と省力となっております。	<table border="1"> <tr><td>く溶性リン酸</td><td>6</td></tr> <tr><td>可溶性ケイ酸</td><td>32</td></tr> <tr><td>アルカリ分</td><td>45</td></tr> <tr><td>く溶性苦土</td><td>12</td></tr> </table>	く溶性リン酸	6	可溶性ケイ酸	32	アルカリ分	45	く溶性苦土	12
く溶性リン酸	6										
可溶性ケイ酸	32										
アルカリ分	45										
く溶性苦土	12										

※JAで実施する機械散布を利用すれば、省力化が図れます。

## うまい米には『けい酸』が不可欠

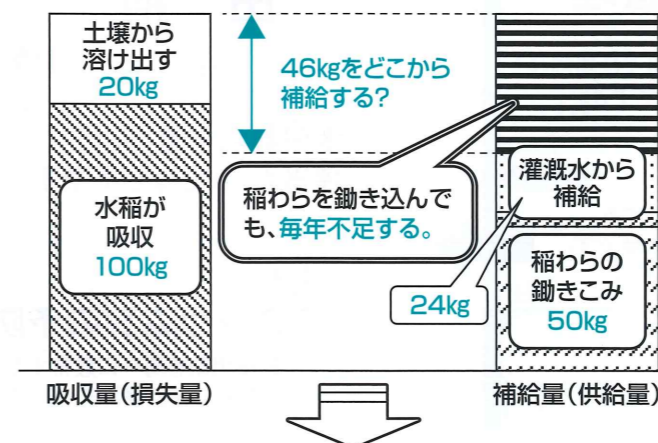
けい酸(ケイ素=Si)の働きと特徴

- 稲では窒素の10倍量吸収されます。(それだけ必要)
- けい酸が蓄積すると、組織が堅固になり剛性が高まります。その結果、耐倒伏性、耐病害虫性が向上します。
- 受光体勢が良くなり、光合成能力が向上します。(増収効果が期待できます)
- 葉面からの蒸散を調整し、水分代謝調節をします。(猛暑、冷夏に強い稲になります)

水稻栽培における『けい酸』の収支(10a当たり)

前提条件 ①玄米100kgの生産にけい酸成分20kg吸収される

②収量は500kg/10aとして計算



だから土づくりで『けい酸』成分補給  
・土力の達人…80kg/10a施用で約25kgの『けい酸』成分補給